

Yahoo! JAPANと神戸市の連携により、ビッグデータを活用して開発された超小型財布を 神戸のレザーブランド「Kiichi」から本日発売

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）と神戸市のビッグデータ活用における連携により、神戸元町のレザーブランド「Kiichi」から、「Yahoo!検索」データなどYahoo! JAPANのビッグデータを活用して開発されたフラグメントケース（超小型財布）が本日発売となりました。



Yahoo! JAPANは、データドリブな市政課題の解決や人材育成、および自治体でのビッグデータ活用の可能性をさぐることを目的に、2018年に神戸市と連携協定を締結し、人流データの街づくりへの活用や、市職員や市内事業者向けのデータ分析・活用ワークショップなどを実施してきました。また、神戸市で開催されている食やファッション、音楽や映画、テクノロジーなどを組み合わせたクロスメディアイベント「078KOBE」に参画し、昨年は地元の老舗ベーカリー「ケルン」と共同でビッグデータを活用したカレーパンを開発、販売し好評を得ました。

今年は、「made in Kobe」をコンセプトに掲げる神戸元町のレザーブランド「Kiichi」での革製品の開発を決定し、「Kiichi」、神戸市、Yahoo! JAPANの担当者が一丸となって、リモートでの打ち合わせを重ね、データ分析や試作等を行ってきました。

革製品関連の検索では「財布」の検索が多くニーズが高いことや、近年キャッシュレスの浸透などの影響で財布の中でも特に「小型財布」の検索が増え、トレンドになってきていることがわかりました。これらのデータなどをもとに、今回のフラグメントケース（超小型財布）の開発に至りました。このフラグメントケースは、「Kiichi」店頭のほか、ファッション通販サイト「ZOZOTOWN」でも販売します。さらに、神戸市のふるさと納税返礼品への採用も決定しています。

Yahoo! JAPANでは今後も、全国の自治体の地域課題解決や地域活性化などにビッグデータを

